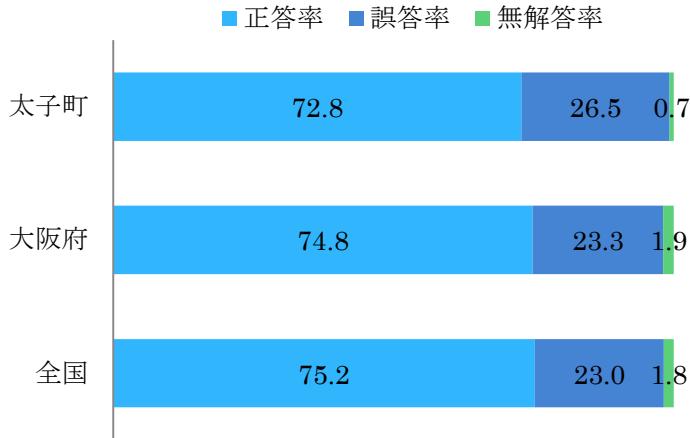


平成 27 年度 全国学力・学習状況調査

算数 A

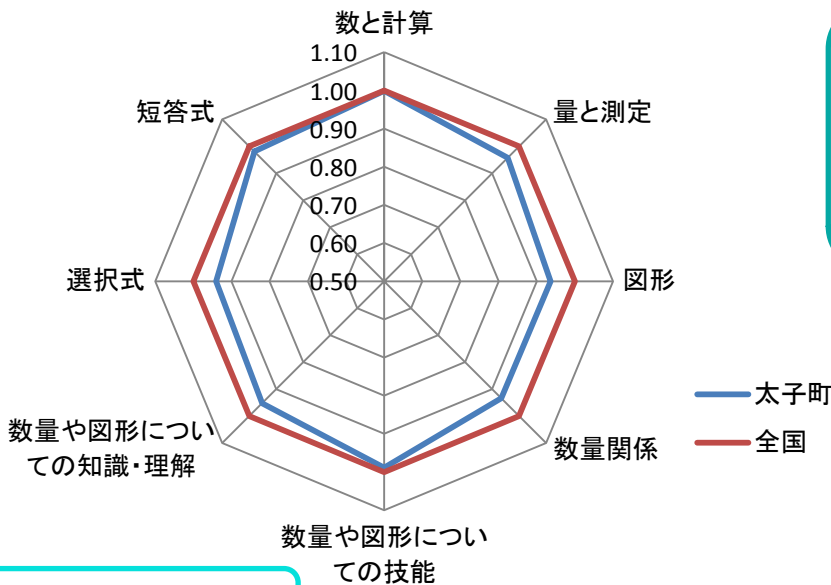
正答率比較



全国の平均正答率が、75.2%であるのに対し、太子町の平均正答率は72.8%であり、2.4ポイント下回った。



全国平均正答率を「1」としたときの大阪府・太子町の平均正答率との比較



「数と計算」「数量や図形についての技能」については、全国平均であるが、一方で、「図形」「数量関係」において課題が見られる。

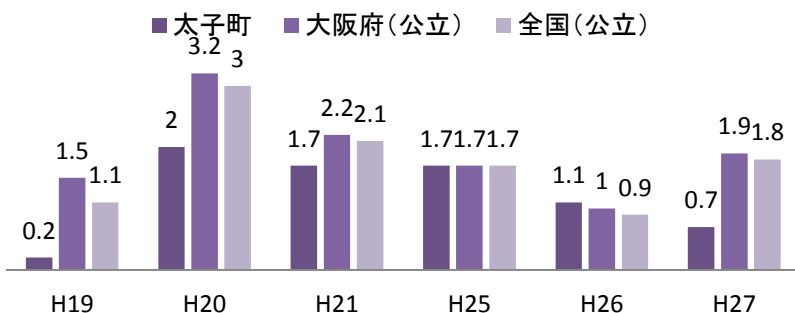
成果と課題

日常生活の中で必要となる時刻を求める問題や異分母の分数の減法の計算をすることができ、全国平均を上回った。

「数と計算」「数量や図形についての技能」では全国平均レベルにあと少しで届きそうである。しかし、展開図や二等辺三角形を用いた問題など、「図形」に関する問いには苦手意識があり、その答えの根拠となる理由を問われた時に正答率が下がっている。

問いに対する答え（結果）だけを求めることだけでなく、その答えを導き出す過程をきちんと理解していく力が必要である。

無解答率



無解答率の全国との差を経年比較すると、昨年度に比べて、0.4ポイント低くなった。全国平均と比較しても、-1.1ポイントということで改善が見られる。

